

地域密着型サービス評価の自己評価票

(部分は外部評価との共通評価項目です)

取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
・理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	3つのケア理念を掲げその理念に向かい職員一丸となりサービスの提供を行っている。	
2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念を事務所やリビング、職員の休憩室に掲げいつでも見えるところに掲示することで職員一人ひとりが理念を念頭におきサービスの提供できるように考えている。又、朝礼や会議等でも理念について振り返りケアの質の向上に努めている。	
3	家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	毎月山里たよりを各ユニット1部づつ作成し御家族様や事業所に配布しホーム内での生活を地域の中で理解していただけるよう取り組んでいる。	今後の取り組みとして行事等への参加を積極的に実施したりホームから地域の行事にも参加できるような体制づくりを考えている。
2. 地域との支えあい			
4	隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	日中の生活の中で散歩や畑仕事などの際に近所の方と立ち話をしたり野菜の頂き物や逆にこちらからおっそわけをしたりしている。	
5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	ホームの近隣には民家が少なく出来る範囲で交流を図っている。地域の行事などにはホームのバスを使い外出し地域の方と交流を図っている。	まだまだ地域交流が少ないので運営推進会議を通じ自治体や老人会、子供会などの催し物やボランティア等で交流をしたい。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	地域の方が参加できる行事とし夏の納涼祭を実施していて御家族様、地域の方、職員の交流の場としている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	外部評価を通じ再度自己をみつめ直し改善点や良い面などをホーム全体で理解し改善すべき点は計画を立てて取り組みより良いホームづくりをしている。		
8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	会議を2ヶ月に1回の開催とし御家族様や地域の方、行政の方より様々な意見や要望を聴き職員会議にて検討をしたり周知したりしサービスの向上に努めている。		
9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	申請書類の確認や保険制度について利用者の入退所状況などで行政にはその都度確認している。		
10	権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	毎月1回職員会議を開催しその中で研修を行っている。又、法人内の居宅ケアマネージャーから毎週様々な介護知識がメールで送付される。又、相談があり必要であれば随時対応している。		今後必要となる方ができるかも知れませんが事前に下準備をしておきたい。
11	虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	毎月1回開催の職員会議の中で取り入れたりしている。又、日々の生活の中で職員同士がお互いに言葉遣いなども注意し合い身体的な虐待だけでなく言葉の虐待防止にも努めている。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約及び退所の際には御家族様に十分な説明を行い納得していただいている。又、わからない事や不安なことについてはいつでも相談していただけるようにこちら側からも声を投げかけている。</p>	
13	<p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>日々の生活の中で利用者様からのちょっとした意見や要望を見逃さず職員会議の中などで検討し改善している。又、毎月1回懇談会を開催しその中で要望や意見、不満なことなどを探りだし改善に努めている。</p>	
14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>利用者様の身体面で変わりがあればその都度ご家族様へ連絡をいれ相談している。又、ホームへ来園された際にも日々の状況や暮らしぶりについて説明している。又、毎月1回月初めにケアマネや担当職員より御家族様へ文面にて知らせている。</p>	
15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>運営推進会議の場やその他電話、来園の際に確認している。又、年に2回家族アンケートに協力していただいている。</p>	
16	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>毎月1回ある職員会議の中で無記名で意見を頂き職員から上がる提案を運営者、管理者を含め職員全員で検討改善している。</p>	
17	<p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>柔軟に対応が出来るように勤務調整や勤務変更はいつでもできるように対応している。</p>	
18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>離職率をあげないように小さな事でも見逃さないように職員との交流を持ちいつでも相談にのれるようにしている。又、職員が変わった際にも利用者様へ不安を与えないようになじみの職員や管理者が間に入り対応している。</p>	

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援				
19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内で年間計画を立て職員会議の場に研修を取り入れ教育育成に取り組んでいる。又、毎週1回メールにて介護知識の資料がケアマネジャーから送られ掲示板で確認している。		
20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	各団体や研修会に参加し情報交換が出来ることによりサービスの見直しなどが出来ている。		
21	職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	職員のストレスの軽減するため事前に目安箱を接し会議の中で意見や要望を確認しその場で解決できる事はその場で解決し出来ない事は次回会議までに答えをだし悩みなどを軽減する努力をしている。		
22	向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	普段の勤務状況や勤務態度を確認したり会議や研修への参加状況又、自己評価を実施し評価している。		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応				
23	初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	入所前の面接でご本人やご家族様と密に連携をとり小さな事も見逃さないようにしている。又、本人の価値観や趣味などをみつけるように積極的にアプローチをしている。		
24	初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	相談があってから入所までに御家族様の要望や意見を確認するためにホームの見学方々来園していただき細かい部分まで納得していただけるように説明し不安要素等を確認している。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>相談があった時点でその方にあったサービス内容かどうか検討し在宅サービスで可能なのか、施設入所なのかをご本人様も交えご家族様、担当ケアマネと相談している。</p>		
26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>ホームの見学を通してご本人やご家族様の気持ちを確認しホームの雰囲気などを感じていただいている。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>日々の生活の中で昼食づくりや畑仕事、洗濯干しなどを行いながら良い関係を大切にしている。</p>		
28	<p>本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>御家族様側に立って様々なことを考えより良い関係を大切に考えている。</p>		
29	<p>本人と家族のよりよい関係に向けた支援</p> <p>これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している</p>	<p>ご本人と御家族様が一緒に過ごせる時間と環境を利用し個々にあった取り組みの支援に努めている。</p>		
30	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>馴染みの場所などには可能な範囲で外出などに取り入れていきご本人のために出来ることに協力させていただいている。</p>		
31	<p>利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている</p>	<p>個々に性格も好み異なるため職員が間に入りきっかけを作り小さな事からでも接する機会をつくっている。</p>		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	契約が終了したからといって終了ではなく様々な相談にもられるように出来る範囲で取り組んでいる。		
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1.一人ひとりの把握				
33	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	懇談会が毎月1回ありその中でご本人の要望等を確認したり日々の生活の中からその方の思いや意向を把握できるように努めている。		
34	これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所にあたっての経緯やいままでの生活について書類で確認し日々の生活の中からもさりげなくアプローチをして聞きだしている。		
35	暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	職員一人一人が細かな部分に気を配り普段とは異なった変化等があった際には随時相談し見直している。		
2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	支援にあたり介護従事者、ケアマネ等でカンファレンスを行い必要に応じて医療機関とも連携をとりケアプランに反映させている。		
37	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	計画書の見直しは変化があった時点で随時検討し迅速な対応ができるように努めている。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の生活の中で気づきなどはケアマネに報告や朝礼や会議等で引継ぎ計画書に反映させている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	出来る範囲では取り組んでいるがあまりケースがない。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	地域の女性の会の方々が訪問したり障害者支援のボランティアの方が来園してくださっている。		
41	他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	共同生活が著しく困難であったり家庭での生活を本人が強く希望されている際はご家族様や法人内の居宅事業所とも相談したい王している。		
42	地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	あまりケースはないが少しずつ地域包括とも協働していくように努めたい。		
43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人や御家族様希望の医療機関と連携を保ち健康管理を行っている。		

	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	<p>認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>	<p>協力医と密に連携をとり対応している。</p>		
45	<p>看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>	<p>協力医と密に連携をとり毎月1回(場合により随j)ホームへ訪問診療をしていただき相談し対応している。</p>		
46	<p>早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>	<p>入院した際には主治医と連携をとり方向性などを相談しご本人様の「状況により対応している。又、医療的な事は随時協力医であるので相談している。</p>		
47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>家族の意見を取り入れながらホームで対応できる範囲で対応しています。</p>		
48	<p>重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>	<p>それぞれにどこまでホームで関れる状態であるか話し合い家族に了承を得ます。又、往診や訪問看護の依頼などで対応しています。</p>		
49	<p>住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>	<p>本人が安心して移り住むことが出来るように各関係者と情報提供などを交わし対応している。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1) 一人ひとりの尊重			
50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>尊重の念を忘れずに一人に人間としてお付き合いさせていただき個々の個人情報も漏洩しないように管理している。</p>	
51	<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	<p>本人のレベルに合わせた対応を個々にしている。又、感情をうまく表現できない方はその心理を汲み取る努力をしている。</p>	
52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>理念にあるように本人の自主性を大切にし優先順位をつけて対応している。</p>	
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	<p>身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>	<p>ご本人行き着けの美容室があればご家族様の協力を頂き実施している。その他の方に関しては職員の中で有資格者がいるのでご本人の希望を聞きながら対応している。</p>	
54	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>食事準備をする際から何が食べたいか聞き出したり買い物に行く時点で食べたいものなども聞き出している。又、野菜を切ったり炒めたりできる範囲で一緒に行っている。</p>	
55	<p>本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのもを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>	<p>本人の要望には可能な範囲で対応しタバコや飲酒などもその都度支援していきたい。現状ではケースがない。</p>	

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	<p>気持よい排泄の支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している</p>	<p>排泄パターンを確認し誘導したり声かけをしたりしている。</p>		
57	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>出来るだけいつでも入浴できるようにしているが実際14時～16時くらいに時間に実施している。場合に応じて午前中や夕方の対応もできる。</p>		
58	<p>安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している</p>	<p>個々に就寝時間は異なるのでその方にあった時間で休んでいただいている。しかしあまりに昼夜逆転がひどい際はご本人の身体も考え対応している。</p>		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p>個々にあわせた活動を取り入れご本人がいきがいを持てるように支援させていただいている。</p>		
60	<p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>少ない金額でご家族様ので承が得られれば本人が所持していますが基本的には事業所側で一時立替しています。</p>		
61	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>天候により外へ外出したり買い物に行ったりしている。</p>		
62	<p>普段行けない場所への外出支援</p> <p>一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している</p>	<p>頻繁には出来ないがご家族様の協力も得ながら対応している。</p>		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	いつでも電話がかけられるように対応し手紙もいつでも出せるように支援している。		
64	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	友人や家族が来園されたときにホームでの生活がわかる様に玄関には外出や生活の写真等が「掲示してあり暖かい雰囲気作りをしている。又、一緒に食事やお話ができるように談話室を設けている。		
(4) 安心と安全を支える支援				
65	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	ホームでは毎月ある職員会議の中で研修したりして取り組んでいる。		
66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中鍵をかけないケアを実践しているが夜間は利用者様の安全も考えセキュリティをセットし利用者様の安全確保をしている。		
67	利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	日中は利用者様の居場所や何を行っているか確認し夜間については1時間間隔の安否確認・安全確認をしている。プライバシーを守るため入浴や排泄には特に気をつけている。		
68	注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	危険が伴うようなものについては職員が必ず付き添うように対応している。		
69	事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	転倒などのリスクがある方には細心の注意をはらい、誤薬しないように名前を記入し本人の名前を呼び内服している。離脱火災に対応できるように緊急体制の確保をしている。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	管理者を含め数名の職員が応急手当を行えるが全職員ができるわけではない。		今後全職員が出来るように計画を立てて取り組んでいく。
71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	災害に備え年に2回訓練を実施し1回には消防職員に参加していただきアドバイスを頂いている。又、地域のネットワークに入り地域の方と協力体制をとっている。		
72	リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	ケアマネジャーを中心に利用者様を観察し今後考えられるリスクを御家族様と連携をとり対応している。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	普段の生活の中で少しでも違いがあれば速やかに管理者又はケアマネジャーに相談し検討したい王している。又、必要に応じて医療機関とも連携をとっている。		
74	服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個々の内服については個人ファイルに処方箋をファイリングし内服成分の把握をしている。管理者、ケアマネジャーは利用者全員の内服を確認し状況の変化に対応できるように努めている。		
75	便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	排便周期を把握し便秘予防のため、水分量や乳酸菌、適度な運動、食事の工夫などに努めている。		
76	口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	食後は状況に応じ一人ひとりにあった口腔ケアをしている。夕食後については義歯使用者は義歯を預かり夜間帯に洗浄している。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	水分量は1日を通して摂取していただき食事量については特別変らず一般的な量で提供している。男性利用者については量を多くしたりして対応している。		
78	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	毎日塩素系の消毒でトイレや手すりなどを掃除している。夜間帯には調理器具などの塩素消毒も実施している。外出や排泄の後にはうがい手洗い消毒を実施してご家族様の来園に対しても玄関に張り紙をしたり口答で呼びかけている。		
79	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	食中毒予防のために夜間帯に調理器具の消毒やキッチンフロアの掃除をしている。食材についても毎週2回の買い物をし新鮮な食材で食事を提供できるようにしている。又、冷蔵庫内に賞味期限近しの場所を設け対応している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1) 居心地のよい環境づくり				
80	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	建物の周りにはお花や庭園をつくり自然な雰囲気を作り玄関まわりにも危険なものは置かず来園者が高齢者であっても入りやすいようにスロープを使用していただけのように声かけをしている。		
81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関には様々な行事写真や生活の様子を掲示している。トイレなどの臭いについては芳香剤などを使用したり天候の良い日には畳を天日干ししている。リビングの壁には四季折々の掲示をし目で季節を感じれるような取り組みをしている。		
82	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	一人になりたいときには居室を利用されみなさんとお話などしたい際はリビングやテラスなどを活用している。その他で事務所や畑なども活用している。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入所時に今までに使っていたものを持参していただくようお願いし使い慣れたものやできる限り今までと変わらないような空間作りに努めている。		
84	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	リビングには温度湿度計がありこまめに確認し空調を利用し対応している。日中は換気を行い空気の入替えを行っている。夜間には暖房以外に湯たんぽをしようし出来る限り空調に頼らず対応している。臭いについては消臭剤や畳の天日干しを行って対応している。		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	ホーム内には手摺が設置してあり歩行の介助となったり筋力トレーニングにも活用している。又、歩行が難しい方であっても畳であればいざりも出来る。		
86	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	個々に能力の違いがあるのでその能力を職員は見極め個々にあった対応に努めている。トイレなどの排泄パターンも把握しさりげなく声かけしている。		
87	建物の外周や空間の活用 建物の外周やベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	建物の周りにはウッドデッキがありいつでも日光浴やお茶が楽しめるようになっている。		

. サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
項 目			
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の	
		利用者の2/3くらいの	
		利用者の1/3くらいの	
		ほとんど掴んでいない	
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある	
		数日に1回程度ある	
		たまにある	
		ほとんどない	
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と	
		家族の2/3くらいと	
		家族の1/3くらいと	
		ほとんどできていない	

項 目		最も近い選択肢の左欄に つけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	ほぼ毎日のように	
		数日に1回程度	
		たまに	
		ほとんどない	
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている	
		少しずつ増えている	
		あまり増えていない	
		全くいない	
98	職員は、生き生きと働いている	ほぼ全ての職員が	
		職員の2/3くらいが	
		職員の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族等が	
		家族等の2/3くらいが	
		家族等の1/3くらいが	
		ほとんどできていない	

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

その人らしい生活がおくれるように職員はさりげなく支援し出来る限り見守るように努めている。生活の中でも共に笑ったり何事も共有共感し毎日を過ごしている。職員は笑顔を絶やさず利用者様に不安を与えないように取り組んでいる。